	令	和6年月	隻長	久手	市行政	評価	票(A票:事	業評価票	()		対象年度			令和5年度			
						生涯学習推進事業						担当課		生涯学習課				
事業番号		24	事第	《名								予算区分(款-項-目-中事	-1-1 生涯学習推進事業					
					(大事業名) 生涯学習推進事業							決算書ページ		225 ~ 一般				
	総	基本目標	4	1	「やって	こみた	い」で	つながるまち	事業開始	冶の					学習意欲を気軽に持つきっかけできるながくて・学び・アイ記			
	合計	政策	2	「やっ	てみたい」	が実	現できる	る仕組みづくり	背景	ŧ		は民間神座や中民が互いに手の講している。	J D J		てこのなかくて、子ひ・)1章	再庄		
	画	施策	(3)		誰もが活	躍できる地域づくり			市国	民・民	間事第	業者との連携協働の可能性			両者と協働可			
		開始年	芰															
	その	終了予定年	年度															
	の他	根拠法令	等	社会教	育法													
		関連計画	画	第2次	長久手市生	上涯学	習基本	構想										
				アワ	フトプッ	ノト(詳細はIへ)						アウトカム(詳細はⅢへ)						
I 基		-		事業概要 組を行うのか)			②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)					③中間成果 ①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)				
基本情報		【対象】 民 員 対 事 材 居講 所 が 事 材 居 調 が 事 材 居講 所 が 開 が の 場 座 が で 開 が で 開 が で 開 が で 開 が で 開 が で 開 が で 開 が で 開 が で 関 が で と 習 る 、 じ 感 館 等 を で か つ と 習 る 、 じ 感 館 等 を	>	60, でき豊高状態にする	として、市が 習機会を提供 、生きがいを るため、公民	•••	公 民館 【その 経 系 経続	ションプラン 講座開講数【 他の指標】 子後もされ、 が継続され、 が高成サークル ざる。	単年】 学習活動 自立した		でれたルりを (満足度を維持すること 市民の学習意欲が満生さ ・また活動(育成サーク)に参加すること ・市民が居場所や生きがい ・市ける。 果指標名) 座アンケートの平均満足		大事業	自立した活動(育成サーク等)に参加した市民が、活を継続し、やがて地域人材なり、地域での学び合いに献する。 また、仲間づくり・居場所くりが、市民主体のまちづりへと発展する。	動と貢で		

			活動指標名	単位	基準値(目標値(※AP指	2023年)	区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2023) 年度	R9(2023) 年度			
			【アクションプラン事業】		基準値	31	見込	20	20	20	20	20			
		1	公民館講座開講数		目標値	20	実績	11							
			【単年】												
	活		【その他指標】		基準値		見込	300	300	300	300	300			
	活動指標	2	運営に携わる市民の人数(講師、参加者数)		目標値		実績	140							
П			定古に1577 の112007人数(時間、多加省数)												
活					基準値		見込								
活動状		3			目標値		実績								
汉															
					基準値		見込								
ア		4			目標値		実績								
ウト															
プ		事業	開始からの経緯												
ットの		第2次 主的	次長久手市生涯学習基本構想に基づき、市民が学習意欲を持つきっかけとなる公民館講座を開講している。また、講座終了後は、市民によるE 対象学習及び自主学習サークル(育成サークル)の立ち上げの支援を行っている。公民館講座では、市内で活動する団体に運営を依頼する協働												

|催講座と、講師も受講牛と共に学び合う「ながくて・学び・アイ講座」の2種類を軸として展開している。

R5(2023)年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由

詳

ピ

|令和5年度の「ながくて・学び・アイ講座」は、自主学習サークルの立ち上がり数に大きな成果があった。講座後に自主学習サークルとして活動を はじめた講座は、開講した9講座中、5講座となっており例年と比較して自主学習サークルの誕生率が上昇している。ただ令和4年度に令和5年度の 講師を募集しているが、初挑戦の講師や、新しいジャンルの講師を確保することができず、応募講座数も24講座に留まっていたため、令和5年度 |の「ながくて・学び・アイ講座」講師募集チラシを、これまで10年以上使用していたデザインを一新し、若手デザイナーに作成を依頼。カラーでデ |ザインした目にとまりやすいものに改善した。これにより応募講師の数が大幅に上昇し、令和5年度応募数24講座に対して、令和6年度は30講座 の希望があり、令和5年度中に審査が行われ、令和6年度に24講座の受講生を募集することが決定された。しかしながら初めて講師に挑戦する市民 を後押しすることが目的でありながら、毎年同様の講座を申込みいただく講師や、ヨガやフラダンスなどの特定のジャンルが毎年多くなってしまう ことが課題である。連続講座ではなく1DAY講座などにしていくことで、講師も参加者も気軽に参加できるようになるかもしれない。またチラシ作 成や広報拡散のレクチャー会などがあると講師が参考とし、参加者を獲得できるかもしれない。

			成果	指標名(中間	間成果をはか	るもの)		単位						成	果指標	の推	多と目	標					
	成		4	 全講座アンケ	ートの平均			%	R3 年				年度		【現状		年度		R6	5 年度			年度
	果指				1 02 23/		,,,	84.)		8	6.2			85.9				80.0		8	0.0	
Ш	標	成果達成状況													指標目標値の根拠								
	Ĉ		Δ	A.想定よりB	良い B.想定	ごどおり (どおり C.どちらともいえない																
ш	Н	A D. 想定を下回っている																					
事	E		評価の理由、分析												満足度は、受講生の学習意欲を満たした指標であり、満足感を得ることで、今後の自主的な継続学習や生きがい								
業	K		アンケートから														5.01						
事業の成果)	アンゲ																					
果																							
• ===		今後	後の方	向性(3年)	~5年先)		今後の方向性の理由																
課題分析			A	A.現状維持	B.拡充	合併を生かして一体的に実施することでマンパワーを節約していく																	
分			Α	C.縮小 D. 廃止																			
析		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要																					
ア	加 え	(成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)														()							
	る	Ę]直	の余地のある	る取組名	見直しの					理中	3及7	が旦休	的な	見直し	か内容	Į					見	直し
ウトカ	変化	,	<u></u> C	, 007)(×C0700)		方向性																	能年度
カム	Â		【改			□ 拡充 ☑ 改善	囲碁(3	羽根先生)	と郷土	史研	开究会	は地	也元活動	動団体	である	とめ講	座の開 [,]	催をつ	つづし	けてい	る。		
の	C	1	・囲	学習講座 碁講座		□ 縮小	宿小「ターCに不致で入間に別級しているため、死任のと時圧で他がダるが、国体にある工作									的な							
詳細	Ţ		・史	跡巡り		□ 廃止																	
知)	0		 	~ 1		□拡充 ☑改善	□ 拡充										゛ジャ						
	<u>N</u>	2	【改学び	吉 』 アイ講座		│□ 縮小	」、「フルル州るため、フ及丁ひノー時圧は、「MI 時圧にひて、ヘフム 10g るここで 初里の八幅 6月																
					□ 廃止	が、 を期待できるため、改変を行っていきたい。 発止																	
						□拡充																	
		3				□改善届																	
						□ 廃止																	

		年度の費用(年度比)		(単位:千円)	R6年度	R5(202)	3)年度	R4(202	2)年度				
		A. 現状維持 B. 拡充			古	予算	予算	決算	予算	決算				
		A C. 縮小 D. 廃止			事業費	784	751	306	751	410				
		理由			合計額	276	276		276	205				
		 講座を削減したため、今後講座を増やす		特	(内 国費)									
		拡充は行わない。		特定財	(内 県費)									
		多くの事務負担と人件費を必要とする、 「学びアイ講座」は目的に沿ったスリム		源	(内 諸収入)	276	276		276	205				
	_	化を行い、講座が目的を果たせるように 改変しながら、業務負担も軽減する。			(内 その他)									
	令 和 7	以支しながり、未務兵担も牲,残する。			一般財源	508	475	306	475	205				
	7 缶	積算額			度予算の内訳・			額) >						
	年度予算			公民館講座講師料 744千円(744千円) 食糧費 7千円(7千円)										
IV	予算		3 年	印刷	製本費 33千円(0千円)								
14	の		串間											
費	方向													
用	性		推移											
	P													
	L													
	A N													